

短報

ヒトにおける視・聴覚の相互作用に関する研究 (筒井 純 感覚矯正学科学科長 追悼論文)

深井小久子¹⁾ 椎原久美子²⁾ 松田盈子³⁾ 早川友恵¹⁾ 川島幸夫^{1,2)}

川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科¹⁾

1991-08-23 00:00:00+09 受理

Studies on the Interaction Between Visual Stimulus and/or Auditory Stimulus in Human.

Sakuko FUKAI¹⁾, Kumiko SHIIHARA²⁾, Eiko MATSUDA³⁾, Tomoe HAYAKAWA¹⁾ and Sachio KAWASHIMA²⁾

Department of Sensory Science Faculty of Medical Welfare¹⁾

Department of Ophthalmology²⁾

Human physiology center Kurashiki, 701-01, Japan³⁾

(Accepted 1991-08-23 00:00:00+09)

Key words: visual evoked Potential, auditory evoked potential, interaction, visual-auditory interaction response, normal subjects

要約

視覚と聴覚の相互作用については、視・聴覚同時刺激でネコ上丘の神経放電が著明に増大することが明らかにされている。本報ではヒトにおける視覚と聴覚の相互作用を誘発脳波により検討した。対象は眼科・耳鼻科的疾患のない正常人8名(年齢21-67歳)である。刺激は光刺激(1J)と音刺激(90dB)を組み合わせ、MOVING TOPOGRAPHY SYSTEM 711A(NEC三栄)にて短潜時視覚誘発反応と聴性脳幹反応の記録・解析を行った。実験1:視覚或は聴覚の単一刺激と視・聴覚同時刺激の誘発電位の比較を行った。同時刺激では単一刺激で出現しなかった反応波が潜時40msec.付近(平均振幅0.85 μ V)に検出された。検出率は6/8例(75%)であった。